

## 先端研究拠点事業－拠点形成型－

### 平成21年度 実施計画書

採用年度	平成21年度	採用番号	21004	領域	医歯薬学
分科	外科系臨床医学	細目名	麻酔・蘇生学	細目コード	7306

1. 日本側拠点機関名 九州大学

日本側コーディネーター（所属部局・職・氏名） 大学院薬学研究院・教授・井上 和秀

研究交流課題名 (和文) グリアーニューロン相互作用をターゲットとした難治性疼痛発症機序解明と創薬への展開  
(英文) Research for neuropathic pain mechanism targeting glia-neuron interaction to develop new drugs

研究交流課題に係るホームページ [http:// www.pain-core.org/](http://www.pain-core.org/)

2. 採用期間 平成21年4月1日 ～ 平成23年3月31日(24ヶ月)

3. 先端研究拠点事業としての全期間を通じた交流目標

グリアーニューロン相互作用をターゲットとした最先端の難治性疼痛治療薬創製に向けて、基礎研究の充実と戦略的トランスレーショナルリサーチ（橋渡し研究）のための臨床研究者育成を実践する国際的な疼痛研究コンソーシアムの確立を目指す。この2年間では、「Decade of Pain Control and Research」という国家プロジェクトを2001年から10年間推進している米国およびカナダの超一流研究チームと基礎研究に重点を置いた国際疼痛研究コンソーシアムを形成し、若手研究者および博士課程大学院生の派遣と先方からの受け入れなどによる相互交流と国際シンポジウム開催を行う。また、同時に、英国・ドイツ・イタリア等ヨーロッパ各国、オーストラリア・中国・韓国等オセアニアの研究拠点との交流を図り、その後の本格的トランスレーショナルリサーチ対応の国際疼痛コンソーシアムに発展させる足がかりとする。その際、2年間の実績を、費用対効果、リスク・ベネフィットの両面から評価し、国際コンソーシアムが投下費用に比して有益であることが明らかとなり、学生教育に取りベネフィットの方が大きいと判断された場合に、戦略的トランスレーショナルリサーチ対応の国際疼痛コンソーシアムの確立に向けてその後の3年間の計画を前進させる。本計画はすでに発足した「九大痛み研究会」の基礎研究基盤強化のために貢献する。

4. 前年度までの交流活動による目標達成状況

## 5. 本年度の交流計画の概要

### (共同研究)

- 1) 日米加・疼痛研究コンソーシアムの確立: 日本側コーディネーター井上グループがカナダ・トロント大学の Mike Salter 教授グループ、米国ハーバード大学の Ru-Ron Ji 准教授グループと連携し、「グリアーニューロン相互作用」を対象とする最先端の痛み研究体制を構築する。
- 2) 「難治性疼痛発症メカニズムにおけるグリアーニューロン相互作用の研究」の推進: 世界的に突出したこれら三研究グループが若手研究者・大学院生を相互交換して、研究と教育で協力しあう基盤体制を構築し、研究を発展させる。

### (セミナー)

国際生理学会 (IUPS2009) サテライトシンポジウム福岡プリン 2009 : 創薬シーズ探索の新戦略 : International satellite symposium for The 36th Congress of the International Union of Physiological Sciences (IUPS2009) on Purinergic Signalling in New Strategy of Drug Discovery を 2009 年 7 月 23-25 日に福岡で共催する。このシンポジウムには世界 16 カ国のプリン受容体研究者、グリアーニューロン相互作用の研究者、あるいは痛みの研究者が集まり、最先端のホットな話題を討議する。若手研究者および学生にとっては尊敬に値する研究者と極めて刺激的な研究内容に触れることができる。この経験は、本プロジェクトの目的にまさに合致する。

### (研究者交流)

2009 年 9 月 8-12 日、パリで開催される EuroGlia2009 において若手研究者に発表させる。この学会には世界から「グリアーニューロン相互作用」に関する最先端の研究者が集まり、熱い議論を戦わせている。そういった第一線の研究者の熱気に触れることで、「グリアーニューロン相互作用」を対象とする最先端の痛み研究への意識が高まり、研究が深化するものと期待される。

## 6. 実施組織

### ○日本側実施組織

拠点機関	九州大学
実施組織代表者 職・氏名	総長・有川節夫
コーディネーター 所属部局・職・氏名	大学院薬学研究院・教授・井上 和秀
協力機関数	1
協力機関名	長崎大学
拠点機関事務組織： 事務総括責任者	医系学部等学術協力課長 古畑 嗣男
事務総括担当者	医系学部等学術協力課研究戦略係 小脇 真紀子
経理管理責任者	医系学部等財務課長 前山 俊治
経理管理担当者	医系学部等財務課経理第二係長 南田 忠

### ○相手国側実施組織 1

国名	米国
拠点機関	ハーバード大学
コーディネーター 所属部局・職・氏名	医学部, Brigham 婦人病院痛み研究センター・准教授・ Ru-Rong Ji
協力機関数	0
協力機関名	0

### ○相手国側実施組織 2

国名	カナダ
拠点機関	トロント大学
コーディネーター 所属部局・職・氏名	疼痛学研究センターおよび小児医療病院 Neurosciences & Mental Health・教授・Mike Salter
協力機関数	0
協力機関名	0

### ○相手国側実施組織 3

国名	
拠点機関	
コーディネーター 所属部局・職・氏名	
協力機関数	
協力機関名	